令和６年４月　主な市民の声

問合せ：秘書広報課　☎773-6658

◇保育料について

【ご意見・ご提案など】

令和６年３月25日付の文書で保育料決定通知書が届きました。４歳児と２歳児を育てる親としての意見です。

保育料を０歳児から３歳児まで無料にできませんでしょうか。ふるさと納税を資金として一部を回していただくことはできませんでしょうか。

市の子育て政策の一環としてご検討をお願いします。

（令和６年４月３日）

【お返事】

保育料の制度は、現在「３歳から５歳児クラスの児童」及び「住民税非課税世帯の０歳から２歳児クラスの児童」の保育料が無償になっており、国が定める一定の要件を満たす多子世帯に対しては負担軽減措置が行われております。また、保育料の金額は保護者様の所得に応じて定められ、国が定める保育料は最大で104,000円であり、市では国が定める保育料の半額程度になるように負担軽減を実施しているところです。

お問い合わせのように、ふるさと納税の子育て施策への活用については様々な角度から検討しておりますが、ふるさと納税は安定的な（恒久的な）財源ではないため、無償化実施後にふるさと納税が廃止または縮小された場合は無償化を維持することが難しくなるなどの課題があります。

市では、令和６年４月から「国が定める多子軽減に該当しない第３子以降の保育料の無償化」を実施するなど、限られた予算の中でも子育て施策の充実を図っております。今後も子育て世帯のためにできることを、市民の皆様からのご意見を参考に考えてまいります。

（担当：子育て支援課　保育班）

⇒令和７年４月から、「保育料の完全無償化」及び「副食費の無償化」を実施します。　R7.3.24更新

市民の皆さんのご意見をお聞きしながら、住みたい、暮らしやすい南魚沼市の実現に向けて、様々な改善に取り組んでいます。

◇ほのぼの通信について

【ご意見・ご提案など】

「ほのぼの」の予定表をメール配信できるようになったので登録しました。可能であればメール配信だけでなく、市のLINE（ライン）にも載せてほしいです。LINE（ライン）の掲載が可能であれば、どのような内容が書かれているのか読みたいため、配布されている「ほのぼの通信」をそのまま載せてほしいです。

（令和６年４月５日）

【お返事】

現在、「ほのぼの広場」予定表は、ほのぼの通信の内容を要約しメール配信をしています。ご提案いただきました市公式LINE（ライン）での配信については、運用を防災情報や緊急時情報の提供に限定しているため、現在、市の各種情報をLINE（ライン）で配信する予定はございません。

そのため、LINE（ライン）での配信に代わる方法として、「ほのぼの通信」は市ウェブサイトに掲載していますので、メール配信時に掲載ＵＲＬを貼り付け、登録者からＵＲＬをクリックしていただき市ウェブサイトの「ほのぼの通信」をご覧いただけるように対応してまいります。

（担当：子育て支援課 保育班）

◇新型コロナワクチンについて

【ご意見・ご提案など】

3月31日までワクチンを打てるはずなのに期限を待たずに終わってしまった。ギリギリまで待って打ちたくて予約の電話をしたが断られた。早く予約が終わるなら最初から言ってほしかった。

市として、ワクチンを打てるようにできないでしょうか。

（令和６年４月18日）

【お返事】

この度は新型コロナワクチンの接種希望にお応えできず、申し訳ありませんでした。

ご意見をいただきました『新型コロナワクチン接種』につきまして、国が定める特例臨時接種の期間は令和６年３月31日までとなっておりましたが、南魚沼市内の医療機関での接種は診療日の関係から３月29日が最終日となりました。

最終クールとなったオミクロン株XBB.1.5対応ワクチン接

種は令和５年９月から開始いたしました。予約終了の周知については市ウェブサイト及び３月１日号の市報で「終了が近づくと予約が取りづらくなるため、早目の予約」を呼び掛け３月15日号の市報でも予約終了日をお知らせしています。

一方、接種医療機関に依頼して予約枠を増やしていただいたりもしましたが、駆け込み需要が多くあり、３月22日で予約枠が埋まりました。予約枠が埋まってから予約終了日までの間(22日、25日)は、キャンセルが出た時点での空き枠のみご案内をさせていただきました。

なお、今後の新型コロナワクチン接種については、65歳以上の方は定期接種として、それ未満の年齢の方は任意接種に移行し、自己負担が発生します。インフルエンザワクチンと同様に年に１回の秋冬に、流行の株に合わせたワクチンでの接種となる見込みです。国等から通知され接種体制が構築されましたらウェブサイトや市報でお知らせしますので、よろしくお願いいたします。

（担当：保健課）